

OGINO NEWS

特集『利益を生むマテリアル』

荻野ニュース平成27年秋号
編集発行：荻野化成株式会社

材料選定が利益を生み出す！ついに登場した画期的な材料たち！

特集！
利益を生む
商材



塗装工事や防水工事で、皆様がお使いになっている塗料や防水材には、様々な「使う理由」がある筈です。「塗りやすい！」「レベリングがいい！」「上塗りの艶が抜群！」などといった性能性状的な面や、「値段が手ごろ！」「昔から使っていて慣れている。」など、コスト面や特別な思い入れといった点が、その理由なのではないでしょうか。工事の中で比率が高いのは工賃ですから、つい材料に関して見過ごしがちなのは当然とも言えます。確かに性能や機能に決定的な違いがある場合や、採用によって他社との差別化が図れる、または施工単価アップが見込めない限りは、なかなか自社使用の材料は切り替えづらいと思います。しかし材料を変更する事で自社の利益増を見込む事が出来るとしたら…、貴重な労働力を無駄なく使えるとしたら…、材料の新規採用を考えてみる価値が出て来るのではないのでしょうか。今回は目先を変えてそんな材料をいくつかご提案したいと思います。

雨が降っても「塗れる」？ そんな塗料があるの？

『アレス ダイナミックフィラー』 関西ペイント(株)



「塗れない条件」の常識を大きく覆す下地材。これが先ごろ登場したこの商品のセールスポイントです。「塗れない条件」とは何でしょうか。国土交通省建築工事標準仕様書の塗装工事には「気温5℃以下、湿度85%以上」という数字が出て来ます。要するに「冬寒い時」と「降雨が予想される時」という事ですが、トップコートならいざ知らず下地調整材に関しては、きっと皆様は経験から判断されて施工の可否を決めていらっしゃるのではないのでしょうか。ですから「冬寒い時と降雨が予想される時に塗れる材料です。」というだけでしたら、採用によって享受できるメリットは限られてしまいます。この下地調整材の最大の特徴は「湿潤面」への施工が可能であるという点です。具体例は下の表を参考にさせて頂きたいのですが、降雨直後や高圧洗浄直後に塗装作業に入る事が可能であり、適切な雨養生がしてあれば雨の日でも作業が出来るという事になります。塗装工事の場合は、前日の雨で被塗面が濡れてしまえば当日作業は乾燥待ち、当日雨降りならまず作業中止、何とか作業をしても終了後に降られると不具合の可能性も…という具合に、降雨は予定していた工期を引き伸ばし、結果として労働力の効率的な投入を阻害して来ました。この製品の場合は、被塗面の水が多い場合はローラーなどで水のある程度除去すれば塗付可能、降雨時でも適切な雨養生で雨が掛からなければ作業が可能、デュアルシステムの特徴が大きく付与し、更に水分除去雨養生の徹底により、塗装後2時間程度経過していれば、雨が軽く当たっただけでは流れ落ちることはありません。



この『アレスダイナミックフィラー』は晴天時には主材(16Kg)のみでの使用が可能で、湿潤面や高湿度時には強化剤(0.08Kg)を混合して使用するという仕組みになっていますので、まさに「全天候形」と呼ぶにふさわしい材料です。関西ペイント(株)では現在、作業マニュアルの作成、低温時での市場評価、更には同コンセプトの上塗り開発を進めており、今後のシリーズ充実が楽しみです。材料採用が稼働日数増につながり、現場での生産性向上にもつながっていくという画期的な商品である事は間違いありません。ぜひ採用ご検討頂ければと思います。

こんな場面で使えます

	主材のみ	主材+強化剤
朝方まで降雨があり、始業時点で雨があがっている。	×	○
始業時点で夜露・朝露が壁面に付着している。	×	○
雨は降っているが、塗装面は濡れない。	×	○
高圧洗浄後、すぐにダイナミックフィラーを塗装する。	×	○
晴天で乾燥した状態。(通常環境下)	○	○

品質と効率の両立がDFC一液ウレタン防水材の真価！

『エバーコートZero-1H』 (株)ダイフレックス

ウレタン防水材という現在でも2成分(以下、2液)タイプをお使いの方が多くはないでしょうか。1成分(以下、1液)タイプも市場に出回ってはいますが、メリットは「主剤、硬化剤を混ぜる手間が省ける」「硬化不良が起きない」という点になります。反面「厚塗りすると中熟みする」「材料コストが上がる」といった点が短所として挙げられます。ここでご紹介する『エバーコートZero-1H』は特定化学物質無配合、トルエン・キシレン・鉛・DOPフリーという世界基準の環境対応形1成分形ウレタン塗膜防水材であり、(株)ダイフレックスが今後のウレタン防水材市場の流れを先取りした商品と言えます。1液ウレタン防水材の長所は既に挙げましたが、実際の現場をイメージして頂くと、より分かりやすくなります。2液を混合・攪拌するスペースが思う様に確保出来ない狭小部(例えば狭いベランダ)などでは、無理をして攪拌作業を行うか、他所で混合済みのものを持って来る事になりますが、開缶したものを注意しながら運び込むのは大変です。1液なら持って上がって開缶すればいいだけです。また屋上など面積が大きい場合は、2液の混合・攪拌専任として人手を割かなければなりません。1液なら搬入缶数が多い主材に関して、電源確保も必要なく、屋上への荷揚げも省力化でき、何よりも貴重な戦力を施工に回すことが可能です。更に特徴として挙げられるのが「高強度」という点です。通気緩衝工法の場合は立上り面にメッシュを入れる工法が標準ですが、『エバーコートZero-1H』を使用した通気緩衝工法の場合はメッシュ無しでの施工が可能(もちろん入れる分には一向に構いません。)となります。これら品質を落とす事の無い省力化・省工程化は、施工への高評価とともに、m²材料費の上昇を補って余りある利益を生み出す筈です。

この材料の購入はダイフレックス商品ユーザーの集まりである「エコウレックス工業会」への入会が前提となります。この会は現在、平成28年2月の正式発足に向けて技術講習会などの活動を積極的に行っています。他にも独自の工法を研究し確立する事で、所属会員の市場における差別化を後押しするとともに、工業会メンバーの力で1液ウレタン防水材をマーケットに浸透させるべく励んでいます。今後防水工事への注力をお考えの方は、ぜひ入会をご検討頂きたいと思えます。建設業における就労人口減少は深刻な状態です。自社の持つ施工力を効率よく使い、利益に結びつけていく事が今後ますます必要になっていくでしょう。2液から1液への流れは近年のトレンドです。本格的な1液ウレタン防水材がスタンダードになる日も決して遠くは無い筈です。



超厚付け・仕上げ兼用パテは本当にミラクル！

『ミラクルONE』 関西パテ化工(株)

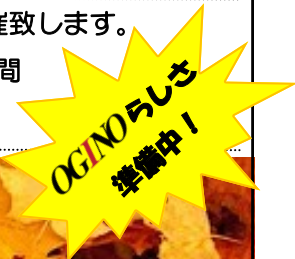
内装工事でボードの目地処理をする時、通常は下パテ、上パテをお使いになると思います。上下ともエマルジョンパテをお使いの方もいれば、下パテには粉パテを使い、上パテには樹脂パテを使うなど、皆様それぞれの種類、それぞれのメーカー品を好みに合わせて使用なさっている筈です。上下兼用パテというものもありますが、それは1種類で上下を兼用できますよという事であって、工程数はファイバーテープ貼りと研磨作業を入れれば4工程が標準になっている事でしょう。つい先ごろ関西パテ化工(株)が販売を開始した『ミラクルONE』は、ファイバーテープを貼ってから一発で充填、テープ隠蔽(薄手のファイバーテープ使用)を行って、乾燥を待って研磨という3工程を可能にした画期的な仕上げ兼用・超厚付けパテです。常識では厚みをかせぐにはヤセも少ない方がいいため粒子は荒く、仕上げるためには粒子がきめ細かくなければならないという相反する条件を克服した商品という事になります。しかも仕上げ塗りに関しては艶消しだけに限定せず3分艶まで可能というから驚きです。さすがに速乾性こそ反応硬化形の粉パテには劣りますが、研磨性も粉パテナみで、ヘラ切れ及び延びは他のタイプのパテの上を行くという点は、何度も何度も現場に足を運んでテストを繰り返して、得られた評価を受け止めて、時間をかけて改良を重ねてきた事の証明なのでしょう。使い勝手は実際に試して頂かないと分からないと思えます。発売開始を記念してご希望の方に『ミラクルONE』1.4Kg小缶をサンプルとして出させていただきます。ぜひこの機会にお試し下さい。ご希望のお客様は弊社担当者にお申し付け下さい。



『OGINOフェス 2016』
～35年分の笑顔とありがとう～
開催のお知らせ!!

創業35周年の感謝を込めて、5年に一度の展示会を開催致します。

開催日：2016年1月30日(土)・1月31日(日)の2日間
会場：横浜産貿ホール マリネリア特設会場



お問い合わせは

荻野化成株式会社



横須賀本社 電話 046-834-1611

横浜支店 電話 045-830-5871

青葉営業所 電話 045-937-5505

東京営業所 電話 03-5480-1666

茨城営業所 電話 029-879-7906

柏営業所 電話 04-7197-7351